

第二十四回

八朔のひなまつり

室津

八月二十九日(土)から
九月六日(日)

八朔のひなまつり

八朔とは旧暦8月1日のことで、古くから重要な節日でした。八朔節供とかタノミの節供などといわれ、さまざまな行事が行われました。瀬戸内海地域では、米の粉で人形、動物、野菜などの形をつくる風習がありました。ところによっては、これらの人形を八朔雛と呼び、あたかも3月雛のように催し、子どもの成長を願いました。

室津で八朔にひな祭りを行うのは、室山城の落城という悲しい出来事が背景にあるといわれています。それは『室津追考記』によると、永禄9年(1566)1月11日、室山城主浦上政宗の弟の宗景の結婚式の夜に、かねてより対立関係にあった龍野城主赤松政秀の急襲にあい、花嫁は奮戦むなしく討ち死にし、政宗は自害したとあります。室津の人々はこの悲劇をかなしみ、非業の死を遂げた花嫁の鎮魂のために3月3日ではなく、半年おくれの八朔にひな祭りを延長したといえます。



はっちゃん さくちゃん

お問い合わせ 室津海駅館
兵庫県たつの市御津町室津457
TEL.(079)324-0595

八朔のひなまつり 関連行事

ふわふわひなづくり

日時：8月29日(土)・8月30日(日)・9月5日(土)・9月6日(日)

場所：室津海駅館

内容：お花紙を使って、ふわふわなおひなさまをつくる体験ができます。

好きな色のお花紙を選んで、自分だけのおひなさまをつくろう！

三味線語り(日月～ひづき～)

日時：9月6日(日) 14時～15時

場所：室津海駅館

内容：八朔のひな祭りにまつわる物語を、三味線の音色と語りでお届けします。そのほか、室津と姫路をつなぐ物語、民謡、盆踊り唄など、播磨に伝わる唄と語りをお楽しみください。

小鼓体験教室 (棹の歌保存会)

日時：8月29日(土) 13時～15時

場所：室津センター

内容：小鼓(こつづみ)は、能楽で使われる楽器です。二枚の皮を胴に組み、調緒(しらべお)で締め付けて音を調整します。体験では、小鼓の打ち方や音の出し方を学び、実際に音を出して楽しんでください。

期間中、
室津海駅館、室津民俗館は無休で入館無料

主催：室津を活かす会
後援：たつの市
お問い合わせ：室津海駅館
兵庫県たつの市御津町室津457
079-324-0595



